

令和7年度 活動の重点目標

福島県公立学校退職校長会

1 目標

創立61年目を迎え、これまで先人が築き上げてきた歴史と伝統を継承するとともに、本会のさらなる発展と飛躍を目指し、諸課題の解決に努め、加入会員の一層の加入促進、会員相互の交流、会員同士のふれあいや支え合いを一層深め、生活の向上に努める。

また、ふるさとの復興・創生と未来を担う子どもたちの教育環境のさらなる充実、学校支援に努めるとともに、地域における社会貢献等に資する活動の充実を図る。

2 重点目標

- 本会が抱える諸課題の解決に向けた活動を強化する。
 - ・ 会員減少と会員の高齢化への対応（役職定年者と未加入会員への勧誘）
 - ・ 学校・現役校長・教育委員会等に対する協力
 - ・ 社会貢献活動等の奨励と活動機会の拡充
 - ・ デジタル化(DX)の一層の推進と、広報誌「松風」・ホームページの充実
 - ・ 要望活動のさらなる充実

- 県小・中学校長会及び高等学校長協会、県教育委員会からの要望などに応えるとともに、支部間の連絡調整を強化し、学校支援事業、地域学校協働活動など、教育振興のための社会貢献活動等の充実と拡大を図るとともに、県教育委員会・福島大学等との連携により教員の魅力発信を継続する。

- 「双葉の灯を消さない」よう、被災・避難された支部・会員への支援活動を継続し、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の被災体験を風化させない活動を継続する。

- 県大会は、開催支部の特性を踏まえ、運営や大会宣言を工夫するなど充実を図る。

- 東北地区退職校長会協議会事務局として東北各県や全連退との連携を深める。